



題字 和泉 哲章

(新潟県書道教育研究会理事 新潟市立東新潟中学校長)

NO、10 令和8年1月13日(火)
発行 新潟県NIE推進協議会事務局

これからの『情報活用能力』の育成にむけて

新潟県教育委員会 教育長 太田 勇二

急速に進化するデジタル社会の中で、生成 AI をはじめとする新しい技術が教育現場にも広がっています。文部科学省が令和6年12月に公表した『生成 AI 利活用ガイドライン (Ver2.0)』では、生成 AI は人間の判断や責任を補助する道具であり、最終的な判断は人間が担うという『人間中心の原則』を踏まえて活用することが示されています。あわせて、偽情報や偏りに適切に対応できる情報モラルを育て、情報を批判的に読み解く力を高めることが求められています。こうした力は、AI を使うためだけでなく、変化の激しい社会で自ら考え、判断し、課題を解決するために欠かせません。



さらに、令和7年9月の「中央教育審議会 教育課程企画特別部会 論点整理」では、次期学習指導要領改訂に向けて「情報活用能力の抜本的向上」と「探究的な学びの充実」が示されました。児童生徒が多様な情報源を批判的に読み解き、主体的に考え、協働して課題を解決する力を育むことが、今後の教育の重要な方向性です。こうした学びを実現するためには、『社会に開かれた教育課程』の理念に沿って、学校と地域社会、メディアを結ぶ仕組みづくりが求められます。地域や社会とつながる学びは、子どもたちにとって、教室の中だけでは得られない視野や判断力を育てる機会となり、学びの質を大きく高めます。

新聞は、その実現を支える「生きた教材」です。ネット情報が即時性を持つ一方で、新聞は事実を深く掘り下げ、背景や文脈を示します。こうした違いを理解し、新聞を読む習慣を身につけることは、答えのない課題に挑む時代に、子どもたちが主体的に考え抜くための力となります。新聞を通じて、社会の動きや地域の課題を知り、自分の意見を形成する経験は、情報を取捨選択し、信頼性を見極める力を育てます。これは、ネット情報だけでは得にくい、深い思考を促す学びです。

NIE（新聞を教育に活用する取り組み）は、『社会に開かれた教育課程』を具体化する有効な方法の一つです。新聞を活用することで、子どもたちは地域や世界の出来事に触れ、情報を見極める力や考えを深める力を養うことができます。授業で新聞記事を題材に議論したり、調べ学習に活用したりすることで、主体的な学びが広がります。こうした学びは、論点整理で示された『情報活用能力』の育成にもつながり、未来を生きる子どもたちにとって確かな力となるものと確信しております。

写真で見る 令和7年度 N I E実践・研究委嘱校の取り組み

今年も、実践・研究委嘱校の2年目校による「NIE 研究発表会」、そして1年目校による「まとめの校内授業研修」が、計画通り実施されました。

<2年目校「N I E 研究発表会」>

○ 見附市立葛巻小学校（白井敦校長・NIE 担当 金子剛志教頭）



○ 聖籠町立蓮野小学校（内山谷寿夫校長・NIE 担当 高橋亜由美教諭）



○ 新潟市立南万代小学校（石山博之校長・NIE 担当 田村眸教諭）



○ 上越市立中郷中学校（山岸賢一校長・NIE 担当 小林保子教諭）



○ 新潟市立大形中学校（後野孝仁校長・NIE 担当 鈴木昌子教諭）



○ 県立中条高等学校（横堀正晴校長・NIE担当 本間由紀教諭）



※ 詳細は、新潟県NIE推進協議会ホームページ「お知らせ」をご覧ください！

<1年目校「NIEまとめの校内授業研修」>

○ 上越市立保倉小学校（荒井尊嗣校長・NIE担当 金子千恵教諭）



○ 長岡市立下川西小学校（羽鳥益実校長・NIE担当 笹川歩希教諭）



○ 新潟市立横越小学校（音田和行校長・NIE担当 中浜愛美子教諭）



○ 魚沼市立広神中学校（小森一秀校長・NIE担当 北村優介教諭）



○ 新潟市立上山中学校（桑原通泰校長・NIE 担当 関谷卓也教諭）



○ 新潟県立新潟翠江高等学校（吉川保校長・NIE 担当 園田健太郎教諭）



市町村教育委員会を訪問 ～新聞配備を要望～

令和7（2025）年、新潟県 NIE 推進協議会伊藤充会長と事務局長が、各新聞・通信社の総局長・支局長と共に、NIE に対する理解と協力を得るために新潟県並びに市町村教育委員会を訪れました。例年の新潟県及び新潟市に加え、今年は2つの教育委員会を NIE 研究発表会開催時に合わせて訪問し、NIE 推進協議会の主な事業概要の説明と学校図書館への新聞配備等をお願いしました。

<訪問した教育委員会>

- ・新潟県教育委員会（太田勇二 教育長）
- ・新潟市教育委員会（夏目久義 教育長）
- ・見附市教育委員会（渡邊茂夫 教育長）
- ・聖籠町教育委員会（近藤 朗 教育長）

新聞・通信社の新潟総局長・支局長が、学校にやってくる！

～順調に開催～

令和7年度 **特別出前講座**

たくさんのお申込み大変ありがとうございました。新聞・通信社の総局長・支局長が県内各地の小中学校に出向き、実施してきた特別出前講座も、いよいよ大詰めとなりました。申込み忘れていたということがないように今一度ご確認をお願いいたします。

以下に、実施した特別出前講座の中から、いくつかをご紹介します。



板鼻幸雄氏撮影
南魚沼市立石打小学校
（毎日新聞社）



新潟市立両川中学校
（共同通信社）



村上市立山辺里小学校
（日本経済新聞社）



新潟市立矢代田小学校
（新潟日報社）

※ 他にも、現在、日程や内容を、学校と新聞社で調整中の特別出前講座がいくつかあります。

<編集後記>

実践・研究委嘱校の12校に加え、特別出前講座をお申込みくださった県内各校にお邪魔する機会を得ました。新潟県内の小・中・高等学校で、NIE が推進されていることを、事務局として大変ありがたく感じました。NIE は、子どもたちの力を確実に高めます。今後とも、どうぞよろしくをお願いいたします。（新潟県 NIE 推進協議会事務局長 宇ノ井修二）